



公開連続セミナー **子どもの〈こころ〉と〈からだ〉をみつめて**

ムーブメントからのいざない (全2回)

この時代において、子どもの自己形成に不全感や閉塞感がまわりつきます。そこで、子どもの〈こころ〉と〈からだ〉の相互関係を見つめ直し、再構築するために、手がかりとして「ムーブメント」に着目しました。「ムーブメント(運動)」には、「からだを動かすこと」と、「ある目的を達成するために活動すること」という二つの意味があります。今回は両者の意味での「ムーブメント」を通して、自己の再形成を促し、閉塞的になりがちな状況を新たな局面(フェーズ)に変える——そうした創造の可能性を探っていきます。

第1回 講演とシンポジウム 日本文化におけるシュタイナー教育の在り方をめぐって

2011年11月12日(土) 午後1時30分～4時30分

総合研究棟文学系N棟2階
N202教室

基調講演 「シュタイナー教育——世界1000校に広がる秘密」

子安 美知子 (早稲田大学名誉教授)



創立92年になるシュタイナー学校は、今地球上の80カ国に1100校ほどの数で広がっています。既成の教科書を使わず、試験も点数評価も行わない12年制一貫教育。外から覗き見ると、絵を描き、歌ったり踊ったり、のびのび楽しそうな学校に見えますが、これで勉強はしっかり身に付け、成人後はだれもが自主自立の生き方で、ライフワークを見つけ、世界をポジティブに捉えて実践的に働きます。その秘密は創立者ルドルフ・シュタイナーの「普遍的人間学」に沿った教育理念にあるようです。その比類なく構築された体系と現実の姿の一端をご紹介します。

シンポジウム 子安 美知子 × 西村 拓生 (本学文学部教授) × 脇坂 安郎 (シュタイナー教育・治療教育者)
司会：真栄城 輝明 (本学文学部教授)

プロフィール

子安 美知子

ドイツ文学専攻。娘をドイツのシュタイナー学校に通わせた体験から、シュタイナーの思想、教育実践の日本への紹介活動に40年来励む。現在は千葉県長南町に起こしたNPO法人あしたの国まちづくりの会理事として、同会内シュタイナー学園の教育に尽力。主要著書：「ミュンヘンの小学生」中央公論社(毎日出版文化賞受賞)、「ミュンヘンの中学生」朝日新聞社、「シュタイナー教育を考える」学陽書房、「エンデと語る」朝日新聞社、「『モモ』を読む」学陽書房、ほか。

脇坂 安郎

イギリスのエマソンカレッジにてシュタイナー教育教員養成コースで学ぶ。その後北アイルランド、南イングランドのシュタイナー共同体で、発達障害をもつ子どもや成人と生活を共にしながら、シュタイナー治療教育を実修する。日本においては、富士宮市、箕面市でシュタイナー治療教育学校の担任を5年間つとめるかたわら、各地で、治療教育啓発のための講演、講座を行う。また、発達障害を持つ子どものための個人セッション、成人のための内観的バイオグラフィーのコースを行なっている。

第2回 ワークショップ 響きあう瞬間——ダンス/ムーブメントセラピーで出会う子どもたち

2011年12月3日(土) 午後1時30分～4時30分

記念館2階講堂

神宮 京子 (アメリカ・ダンスセラピー協会認定ダンスセラピスト、日本ダンスセラピー協会認定ダンスセラピスト・協会理事)



子どもとのワークの中で、一番大事に思うのは「いかに出会うか」です。そして、そのいかに出会うかのプロセスがダンスの始まりになっています。でも、子どもの本当のところに会うのはなかなか難しいものだな、と実感します。

子ども自身、様々に気持ちを押し隠すこともあれば、抱えきれずに暴発することもあります。もちろん、発達段階の難しさも関係してきます。親子のすれ違いもここに起因することが多く、また、震災の影響に苦しむ子どもたちの心のケアにおいても重要な観点です。

プロフィール

ニューヨーク市立大学ハンター・カレッジ大学院にてダンス/ムーブメントセラピーを学び、1996年卒業・資格取得。1997年に帰国。特別・特定医療法人群馬会群馬病院、群馬県立精神医療センターでダンスセラピストとして勤務。DMT Labを主催し、都内その他でトレーニング・セミナーやワークショップを開催。

※定員40名です。(申し込み順。定員充足次第、申し込みを締め切ります。

定員に余裕があれば、当日参加も可能です。)

※動きやすい服装でお越しください。上靴は不要です。

※心身のトラブルで現在治療中の方は事前にお知らせください。

対象 一般市民、教育関係者、学生・院生ほか

参加費 各回とも無料

E-mailおよびFaxによる事前申し込みを承っております。当日参加も歓迎いたします。

お問い合わせ先

奈良女子大学地域貢献事業「次世代自立支援の子ども学」事務局 (代表:真栄城輝明・文学部教授)

電話/FAX 0742-20-3957 メール kodomo-gaku@cc.nara-wu.ac.jp

ホームページ http://www.nara-wu.ac.jp/kodomo-gaku/

主催 奈良女子大学地域貢献事業「次世代自立支援の子ども学」

後援 奈良県、奈良市、大和郡山市

奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、大和郡山市教育委員会、奈良女子大学附属学校部

協力 大和まほろばの会



ケイタイで簡単アクセス!